

第2学年 道徳科学習指導案

令和元年10月9日（水）5校時

- 1 主題名 社会への貢献 内容項目【C 勤労】
- 2 ねらい 勤労における社会の役割を考える活動を通して、どんな仕事にも社会的役割があることに気づき、将来の生き方について考えを深めようとする態度を養う。
- 教材名 「小さな工場の大きな仕事」（中学道徳 あすを生きる2 日本文教出版）
「埼玉の子ども70万人体験活動」
（出典 彩の国の道徳「自分を見つめて」埼玉県教育委員会）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

中学生時代は進路や職業についての関心が高まる時期であるが、自己中心にとらえる傾向がある。このような時期に、勤労の尊さやその意義について十分理解させることが大切である。また、職業について正しい考え方をはぐくみ、自らの将来について考え社会の形成に参画する意欲と態度を養う事が重要である。

(2) 生徒のこれまでの学習状況及び実態について

生徒たちは9月上旬に職場体験活動を行っており、事前に働くことの意義については学習している。体験先は自分自身で将来の夢や興味のある事から選択をし、どの生徒も第1希望か第2希望で体験をしている。

道徳科の授業では、「戦争を取材する」という教材を1学期に扱った。戦場ジャーナリストとして、平和な世界の実現を心から信じて生き抜いた山本美香さんの生涯を通して人生における生き甲斐と信念について学習をした。

本教材の主人公と近い状況にある事から、より自分自身と重ね他者の意見を聞きながら自己の考えを深めさせたい。

また、本校では道徳科についてはローテーションを組み、学年の教員がどのクラスにも入り授業を行っている。そのため担任以外の道徳の授業を受けることが定着している。多くの教員が関わり、様々な視点から多角的に物事を捉えさせ道徳心を育みたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は大田区の小さな町工場で生活している中学生の主人公が働くことの意味に気付く物語である。主人公は自分の父親の仕事である、金属に機械や手作業でヤスリをかけて磨く仕事に対して「機械だけで正確な部品が作れないものか。もっときれいな職場でお金がたくさんもらえるかっこいい仕事に就きたい。」と考えていた。ゲームソフト会社の職場体験をした主人公は、働くことの大変さを知る。そして改めて父親の仕事に対する情熱とこだわり、小さな工場での社会の役割に気付くという内容である。主人公の心情の変化を通して、仕事と社会との繋がりについて理解を深めさせたい。

4 学習指導過程

段階	学習活動（主な発問）	予想される生徒の反応	指導上の留意点◇評価の視点
導入	1 生徒の職場体験活動の感想をもとに、本時の学習目標の確認を行う。	「同じ気持ちでした」 「大人ってすごいと思った」など	・「埼玉の子ども70万人体験活動」拡大して提示 ・生徒の職場体験活動の感想の紹介を行う
展開	2 教材の内容を確認する。		・教科書は開かせ、教員の範読を聞かせる。
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">本時のねらい：働くことから自分の将来を考えよう</p> <p>3 僕は自分の家の仕事とゲームソフト会社についてどのように思っていたのだろう。</p> <p>4 父はなぜ工場で働き続けているのだろう。</p> <p>○世の中って、誰のこと？</p> <p>5 ゲームソフト会社は世の中の役に立っているか。</p> <p>○どんな人の役に立っているのだろう。</p>	<p>【家の仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油くさい ・古くさい ・機械を使えば良いのに <p>【ゲームソフト会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれい ・カッコいい <p>・仕事をやり続けて、部品精度が上がるのが楽しかったから</p> <p>・世の中の役に立つことが嬉しい</p> <p>→天気予報を見る人、車に乗る人</p> <p>・立っている。</p> <p>→ゲームをする人。</p>	<p>・どんな仕事でも、社会における役割があり「誰かのため」「何かのため」に勤労が自己の喜びとつながっていることに気づく。</p> <p>・汚く油くさい仕事でもなぜ父は仕事をし続けどのようなやりがいがあるか考えさせる。</p> <p>◇勤労について他人の意見を尊重しながら自分の考えを深めている。[道徳ノート]</p> <p>・この問いはあまりイメージがつかず、深まらない可能性があるため、教員の妹の紹介をする。</p> <p>【エンターテインメント産業の社会への役割】</p>
終末	6 どんな仕事をしてどんな生き方をしたいだろう	・生徒のために先生になりたい ・動物のために、獣医になりたい、など	◇社会における勤労の役割について理解し自分の生き方について見つめようとしている。 [道徳ノート]

5 他の教育活動との関連

事前指導	職場体験活動を通して学んだことについてアンケートを取る。
道徳科	教材名「小さな工場の大きな仕事」 勤労には、自分の幸福を追求するために収入を得て個人や家族の生活を維持する面と、社会の中で一定の役割を果たして社会を支える面があることに気付かせ、将来の生き方について考えを深める。
事後指導	学級活動で、生徒が考えた思いを紹介するとともに「人はなぜ働くのだろう」というキャリア教育につなげる。
家庭との連携	本時の内容や感想を学級通信で紹介し、人間としての生き方について家庭でも話題にしよう。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・ 勤労について、他人の意見を尊重しながら自分の考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・ 社会における勤労の役割について理解し、自分の生き方について見つめられている。

7 板書計画

